

# スポーツを 通じた まちづくり

2021年3月20日

市民スポーツボランティアSV2004

泉田 和雄



# 自己紹介と組織紹介

1998年ベガルタ仙台ボランティア

2001年宮城国体ボランティア

2002年ワールドカップボランティア

2003年グランディ・21ボランティア

市民スポーツボランティアSV2004  
2004年9月12日

2005年楽天イーグルスボランティア

2005年仙台89ERSボランティア

2014年スポーツコミッションせんだい

2019年  
せんだいボランティアステーション

2021年オリンピックボランティア

山形県出身 ボランティア歴23年  
幅広いスポーツ  
のサポートのため、市民有志で  
市民スポーツボランティア SV2004  
を立ち上げ代表理事

# 今、スポーツボランティアの時代

背景にあるもの

- ◎ プロスポーツの増加  
Jリーグ/Bリーグ/Tリーグ/野球
- ◎ マラソン大会の増加
- ◎ 国際規模のスポーツイベント
- ◎ スポーツ施設の増加
- ⇒ 地域活性化のためボランティアの  
仕組作り【行政とプロスポーツ】

# ボランティアに求められていること

「市民協働」や、スポーツ基本法の「する・みる・ささえる」を受けての各地の推進計画策定に伴い、ボランティアの活用の動きは多いが・・・

どう活用すればいいか。(活動の場)

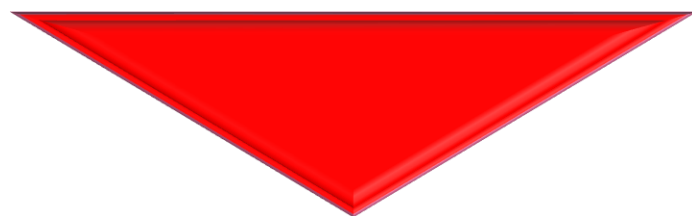
どう接し維持すればいいか。(組織体制)

予算はどうするか。(経費不安)

何が必要かなど、停滞するケースが多い

わたしが思うスポーツボランティア

スポーツを通じて、まちや人を  
元気に笑顔にする仲間・同志



地域づくり・まちづくり

市民と共に

「する・みる・ささえあう」ために

スポーツの  
地域課題を  
共に解決する

関わる人が  
ささえあう  
活動

ボランティア  
には無限  
の可能性

スポーツで  
地域を人を  
元気にする